

### 安全安心のまちづくり

松崎 誠



**問** 市街化調整区域の道路事情についての内、①東中学校区の通学路の道路整備、②道路改良整備後の放置車両道路使用問題、③大型車の通行量の多さから傷んだ道路、④玉葉橋付近の慢性的な道路渋滞の解消に向けた取り組みについて伺う。

**答** ①長年、東中学校の通学路として利用されている道路であり現状では、幅員の狭いところがある。今後、道路後退が進み道路用地の確保が整った上で拡張整備を行っていく。②市では、以前より吉川警察に相談し事業者に注意して頂いており、市からも事業者と地権者双方に注意を促している。道路に置かれた場合は事故になる可能性もあるため、引き続き警察と連携しながら注意を促していく。③令和元年度と令和2年度に舗装工事を実施したところであり、令和4年度は、約240mの区間の道路補修整備を実施していく。現状の把握に努め、通行に支障をきたすことの無いよう対応していく。④河川防災ステーション整備と併せて、新たな交差点が整備され、川藤野田線については、左折レーンが整備され渋滞の緩和が期待できると伺っている。

### デジタルトランスフォーメーション 推進計画について

大泉 日出男



**問** 総務省が人にやさしいデジタル化をめざしてデジタル支援活用推進事業計画を2021年5月に示しているが、本市として公共施設を利用したのスマホ教室や講習会は、今後どのように展開をする予定か。

**答** 国のデジタル支援をうけて高齢者向けスマホ教室の開催を順次9月から開始をする予定。講師1名アシスタント1名の定員8名、1回60分、3日間、12教室、96人の計画。

**問** デジタル障害者手帳「ミライロID」の検討をしてみてもどうか。

**答** 利便性が高まるので適用サービスを調査し前向きに検討する。

**問** マイナンバーカードの登録普及推進のこれまでの周知方法、成果、今後の予定、課題は。

**答** 平成28年1月からスタート、広報紙、HPでの周知、休日開設等様々な工夫をした結果、年間で1700件から約1万件へ増加、定額給付金支給やワクチン接種情報関連の周知をきっかけに、41.7%までになった。課題は、今後窓口混雑が予想されるので、混雑回避の為、郵送での申請、来庁お渡しの工夫も検討する。

### 部活の地域移行は どのように進めていくのか

稲葉 剛治



**問** 6月にスポーツ庁へ「部活動（運動部）の地域移行」について、有識者会議から提言書が提出された。この提言の中で令和5年度から3年間を改革集中期間として位置づけている。吉川市において部活の地域移行の今後のスケジュールはどうなっているか伺う。また部活の地域移行について生徒、保護者の理解をどのように得るか伺う。

**答** 市教育委員会としては、提言の要旨については把握している。今後、埼玉県の方針や近隣市町の動向をふまえ対応していく。生徒、保護者の方々におかれては、次年度に向けて学校現場の声を聞きながら、関係部局と連携を図り、吉川市としての考えを定めていく中で、ご理解を得られればと考えている。

**問** 埼玉県から情報が降りるのを待つ間に、生徒、保護者、現場の先生方、地域の方々からアンケートをとり、吉川市の部活動における実態を把握した上で、推進計画策定など今後に向けた準備をしておきたいか。

**答** 学校の現場と話し合いをして、どのように情報収集するかも含めて検討していく。

### 吉川橋完成予定と開通式は 市内中学制服リユース事業

赤出川 義夫



**問** 吉川橋の工事の進捗状況と、完成予定及び開通式の予定は。

**答** 吉川橋から挨拶通りの区間は、令和4年7月末完成を目指している。開通式は工事完成後の記念行事の開催に向けて地元団体と調整を進めていると県から伺っている。

**問** 市内中学校の制服リユース事業について。子育て家庭の経済的負担の軽減と、資源の有効活用及び循環利用を推進するため、卒業や成長で不要になった中学校の制服やジャージ等を譲り合う取り組みについて伺う。

**答** 平成30年度末から市社会福祉協議会において、制服バトンタッチ事業として実施されている。生活に困窮する世帯を対象に保護者の経済的負担の軽減を図る目的で事業化。実績としては令和2年度は9件、令和3年度は16件の制服貸与を行った。今後も、制服を必要とするご家庭・子どもたちに支援が行き届くよう、内容も工夫しながら引き続き事業を進めていく考えである。